

令和8年度

神領小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的・基本的な学力の定着を目指し「どの子にもよく分かる」授業の実践
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、地域や学校の特性を生かし、学ぶ喜びや達成感を味わえる授業づくり

校長

東 正朗

学力向上推進員

近藤 雅江

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題に一生懸命に取り組むことができ、基礎的・基本的な知識・技能が身についている児童が多い。</p> <p>○読み聞かせや読書タイムの確保により学校での読書の習慣が身についている。</p> <p>●習得した知識・技能を活用して、多様な資料から必要な情報を読み取り、問題解決することに課題がある。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、様々な学習や生活の場面で活用することができる。</p> <p>・読書の習慣を身につけ、語彙力・思考力・想像力を養う。</p> <p>・多様な資料から情報を読み取り、目的や意図に応じて必要な情報を選び出し、問題解決することができる。</p>	<p>・朝の活動を使ってミニテスト等を行い、基礎的基本的な技能の定着を確認する。</p> <p>・週末に、読書日記を宿題に出して、家庭でも読書の習慣が養われるようにする。本を読むことで語彙力が増えた実感をつかんだり、表彰されたりする機会を作る。</p> <p>・多様な資料から情報を収集する経験を重ねたり、TT指導を継続したりする。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○ペア学習やグループ学習で、友達の意見を聞いたり自分の考えを伝えたりできる児童がふえてきた。</p> <p>●自分の考えを根拠や理由を明確にして話したり、目的や意図に応じて書いたりすることに課題がある。</p>	<p>・友達の考えを自分の考えと比べながらしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる。</p> <p>・目的や意図に応じて、自分の思いや考えをもって、まとめたり広げたりして表現することができる。</p>	<p>・目的や意図に応じて文章を話したり書いたりするときに、話形や例文をしめす。書いた文章を見直す習慣を取り入れる。</p> <p>・学習の過程を発表する時に、自分の考えを明確に表現できるように効果的にタブレットやホワイトボードを使う。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○各教科の学習や家庭学習に真面目に取り組むことができている。</p> <p>○意欲的に地域や学校の特性を生かした体験活動に取り組むことができている。</p> <p>●自ら課題を見つけたり進んで苦手克服に向けて学習に取り組んだりすることに課題がある。</p>	<p>・各教科の学習に意欲的に取り組み、家庭学習にも進んで取り組むことができる。</p> <p>・地域や学校の特性を生かした体験活動を行い、児童自ら主体的に判断したり表現したりすることができる。</p> <p>・自分の学びを振り返り、自らの課題をみつけ問題解決に取り組むことができる。</p>	<p>・児童がやる気になるめあての設定やポジティブ行動支援を行う。</p> <p>・振り返りを行うなかで、自分の苦手な問題や課題にも自主学習などで取り組めるように声をかける。</p>			